



広報

# ふだい



ヨイスーヨイスー!

ふだいまつり初日、元気いっばいの掛け声を出していたのは大村蓮君。(関連記事10～11頁)

主な内容

村災害復興計画案まとまる ..... 2～5  
 津川岩手現地対策本部長が視察、初のウニ漁に活気、ノヴィル株が1千万寄付ほか村の話題 ..... 6～7

佐藤勲さんに法務大臣感謝状、JAがリンドウで激励、不來方高校音楽部の演奏会ほか村の話題 ..... 8～9  
 ふだいまつり ..... 10～11

# 漁業再生を最重要に

## 素案を作成、各地区で説明会



国、県、村の支援に期待を寄せ土俵詰めをする漁業者 (太田名部漁港=関連記事は13頁)

村は普代村災害復興計画の素案（平成23年度～30年度）をこのほど作成しました。産業経済の再建、住民生活の再生、災害に強い村づくりの三つの基本目標を盛り込んでいます。8月10日から開かれた住民懇談会で村民の皆さんに説明し、さまざまな意見を交わしました。

### 一刻も早い復興目指す

同計画の理念には、一刻も早く漁業者を中心とした被災者の生活支援、復興に優先して取り組み、住民生活を一日も早く回復させることを掲げています。さらに村民の安全と安心を取り戻す必要があるとされ、

同計画の理念には、一刻も早く漁業者を中心とした被災者の生活支援、復興に優先して取り組み、住民生活を一日も早く回復させることを掲げています。さらに村民の安全と安心を取り戻す必要があるとされ、

### 8年間で3段階で実施

同計画の基本目標には、①産業・経済の再建②住民生活の再生③災害に強い村づくりの3本の柱を掲げ、復興に取り組みます。

の2年間で、生活や産業の再建に不可欠な住宅、生産基盤、社会基盤などの復旧に加え、再生・発展に向けた準備を進める期間としています。

計画の期間は、平成23年度から平成30年度までの8年間。その8年間で復旧期、再生期、発展期の3期に区分し、段階的に取り組みます。

#### 1 復旧期

復旧期は、平成24年度まで

#### 2 再生期

再生期は、平成26までの4年間で、復旧された社会基盤と住民の力を基に、震災に見舞われる以前の活力を回復し、地域の価値を高めていく期間とします。

#### 3 発展期

最終の発展期には、被災地

村災害復興計画(素案)の住民懇談会は8月10日から25日までの間の6日間、村内の7会場で行われました。同懇談会には述べ97人が参加。災害復興担当の説明後、参加者は証屋伸夫村長らと意見を交わしました。各会場で出された主な内容をお知らせします。

■黒崎公民館(8月10日、参加者18人)▼ただ復旧しただけではだめ、水産業の復興に向けての取り組みは

答Ⅱハサップ

(食品衛生管理)に対応した荷さばき施設を新港に建設の計画あり▼国の補助の中身が伝わらない。情報も遅い▼停電になっても情報を提供できる施設整備を▼三陸鉄道の早期復旧を▼水門が閉まった場合でも、太田名部く黒崎間を通行できるように道路の整備を▼一刻も早く水門を復旧してほしい。大沢(太田名部)、沢向に堤防を

### 住民懇談会での主な意見① ここを考えてほしい!

■太田名部公民館(8月11日、参加者19人)▼がれき置場に個人の土地を利用しているが、撤去に時間がかかるならそれなりの対応が必要では

答Ⅱ使用料を支払うことで契約済▼大沢の道路の拡幅を▼今度建てるレストハウスの運営、経営は誰がやるのか

答Ⅱ個人となる▼太田名部の水門の扉をかえるとのことだが、鉄でないもので本当に大丈夫なのか。検証してお知らせ願いたい▼震災後トイレが使用できなくて困った。体育館などのトイレを自由に使用せたり、仮設トイレの設置などをお願いしたい▼震災時に大事な役割を

果たした明神線の今後の方針は

答Ⅱ現在、拡幅を行うには非常に難しい。向野場方面への別ルートを整備したい▼新たな荷さばき施設はどうなっているのか

答Ⅱ震災前の計画では、3億の予算で平成25年に建設予定だった

■堀内地区漁村センター(8月12日、参加者5人)▼浜の壊れた船はどうするのか

答Ⅱ村で処分する▼市場の側溝が詰まって斜路に水が流



太田名部会場

出している

答Ⅱ工事発注済▼浜道具を置く場所がない。コンテナを安く買えないものか。倉庫や資機材などの補助の情報があったら流してほしい▼建築制限はあるのか

答Ⅱない▼村外の人で漁業をやりたい人がいるなら、今後受け入れていかなければ担い手はいなくなる。漁協も取り組みをしていかなければならないのではないか

#### 計画期間

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
復旧期							
再生期							
			発展期				

#### 基本目標

- 産業・経済の再建…①産業の再生・復興②雇用機会の創出・失業者への対応③観光の復興
- 住民生活の再生…①社会生活基盤の復旧②生活支援の充実③地域コミュニティの再生
- 災害に強い村づくり…①防災体制の強化②学校施設の安全確保③自助・共助・公助、関係機関等との連携④災害記録の有効活用

# 3 災害に強い村づくり

■防災体制の強化…▶被害を受けた防災行政無線の復旧▶老朽化した防災行政無線をデジタル化へ更新▶東日本大震災を踏まえた地域防災計画、津波避難計画の検証と見直し▶久慈消防署普代分署の新改築整備▶水門の復旧及び改修▶庁舎、避難所などの新エネルギー施設の導入▶普代ダムを利用した小水力発電エネルギーの利活用調査▶避難地・避難所・避難路の再検▶夜間、冬季時の津波に対応した高台公園の整備▶普代浜への防災林の整備▶友好町村との災害時における相互応援に関する協定の締結▶救援物資の備蓄品目・備品数及び調達に係る検証・充実■学校施設の安全確保…▶小学校の高台先行移転を含めた安全対策の検討 ■防自助・共助・公助、関係機関等との連携…▶自主防災組織を中心とした村民参加の防災訓練▶災害ボランティア団体及びその構成員の事前登録体制とネットワークの構築及び育成 ■災害記録の有効活用…▶震災発生及び復興に関する写真や記録、住民の体験談等を収録した記録集の発行やDVDの作成



応急復旧の工事が行われている普代水門

# 復興計画の事業内容

村は3つの基本計画に沿った具体的なさまざまな事業を考えています。事業には漁業施設の復旧や被災者の支援、避難所などの再検討や整備などが盛り込まれています。復興計画の主な事業内容は次の通りです。

## 1 産業・経済の再建

■産業の再生・復興…▶市場での鮮度保持に最低限必要な資機材の応急的な整備▶サケ・マス、種苗生産施設の緊急復旧▶ウニ、アワビの共同採捕または漁協管理の実施に必要な潜水器、海水殺菌装置の整備▶養殖施設、漁船保全修理施設、堀内荷さばき施設、船舶給油施設などの整備▶共同利用する漁船の購入、取得、定置網の取得▶漁場に残る災害廃棄物の調査や撤去を県に要望▶種苗センター等用地造成、整備▶サケ・マスふ化場施設の整備▶普代村漁業協同組合製造加工施設、冷凍・冷蔵施設の整備▶太田名部漁港海岸（大沢地区）の海岸堤防及び沢漁港海岸への海岸堤防の整備（要望）▶アワビ、ナマコ等放流事業及びウニ等蓄養に対する助成 ■雇用機会の創出・失業者への対応…▶離職者等への雇用支援▶農林水産物、食品等の放射性物質の測定調査の実施▶震災による離職者等への雇用支援 ■観光の復興…▶普代浜の施設復旧▶自然遊歩道の復旧 各種イベントの開催、復興イベントの展開



徐々に漁船が並び始めた太田名部港

■白井地区漁業研修施設（8月23日、参加者29人）  
 ▼防災無線の早期復旧を▼海に出ていけば放送が聞こえない▼災害時のサイレンの鳴らし方、放送の仕方に工夫を▼災害で停電となった場合の対応は 答II 防災無線の復旧事業、デジタル化の事業内で防災無線の電源を確保し対応▼村の財源は大丈夫か 答II 国で最大の面倒をみる▼白井の港湾の北側防波堤を延長してもらいたい  
 ▼南側の防波堤の嵩上げをお願いしたい

住民懇談会での主な意見②  
 ここを考えるとほしい！

■沢向地区コミュニティセンター（8月24日、参加者12人）  
 ▼デレック周辺の舗装を12月（アワビ時期）までにやっていただきたい▼まついそ第1・第2トンネル内の側溝の整備、トンネル出口のカートミラーの設置を▼個人で行ったガレキの処理経費は補助対象外と漁協から聞いたが 答II 補助の対象となるので役場に直接請求を▼浜の橋のところが倒れそうに 答II 9月に発



■自然休養村管理センター（8月25日、参加者10人）  
 ▼普代分署の移転先は役場周辺を予定しているのか 答II 分署については別の場所を考えている。浸水区域外に建てたい▼産業団体等を庁舎内、庁舎周辺に置きたいとのことだが、社会福祉協議会はどうなのか 答II 社会福祉協議会については、指定管理等の問題もあるので現状のまま▼管理センターは避難所としてどうか 答II 計画の見直しが必要。最終的な避難所として旧鳥茂小の活用も考えたい▼南浜付近の漁師小屋はどうするのか 答II 規制はないが、検討中▼今回の津波の方向など検証を行う予定はあるのか 答II 行われている

今月は復興計画の素案についてお知らせしました。各地区でさまざまな意見が出されています。いろいろな議論の中で妥協点を探せば見えてくるものもあるのではないのでしょうか。村の将来に希望の光をそそぐのは現場だけではできません。浜の現場を知っている皆さんの経験と知識が必要です。みんなのための計画。みんなで考えて実のあるものにしてほしいですね。



がれきが山積みになっている太田名部大沢地区

■社会生活基盤の復旧…▶村道・県道の津波により堆積した土砂、がれきの撤去▶地震及び津波により被害を受けた道路、街路灯の復旧▶津波により被災した漁業集落処理施設の復旧▶三陸鉄道の早期復旧に向けての支援▶水道施設の拡張整備及び老朽管の更新▶水道施設の耐震化、給水タンク及び応急復旧機材の整備 ■生活支援の充実…▶被災者に対する漁業再建等助成金▶被災者の生活支援や各種制度の相談窓口の設置▶災害等によって緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった方への資金の貸付▶災害で受けた損害の程度に応じた減免及び徴収猶予▶被災土地（津波）に対する課税免除及び減免▶流失した車両等の課税除外▶被災者に対する雇用対策 ■地域コミュニティの再生…▶避難所の耐震化及びバリアフリー化の推進▶被災地域及び村内全域に対し、コミュニティ活動を支援するための助成金の交付▶旧鳥茂渡小学校の避難所利活用についての検討

## 2 住民生活の再生

## 津川本部長が現地視察 漁業者への支援要望

### 榎屋村長、大上議長らと意見交換



漁業者への支援などを訴えた意見交換

東日本大震災復興対策本部の津川祥吾岩手現地対策部長ら5人が8月8日、村を訪れ、意見交換と現地調査を行いました。

役場で行われた意見交換には、榎屋伸夫村長、大上浩史村議会議長、松岡博稜北広域振興局長、村議会議員ら14人が出席。榎屋村長らは村の被害状況を説明し、早期の漁業者への支援を要望しました。

榎屋村長は、「定置網や養殖のワカメ、コンブの施設が壊滅した。原形復旧だけでもかなりかかり、漁業者の生活基盤もできていない。村単独では無理なことであり国の支援を強く望む」と訴えました。

大上議長は「漁船の補助などでも制約があり、漁業者にとっては合致しないものもある。各種手続きも簡素化してほしい」と要望しました。

津川本部長は「お金がないではない。復旧、復興は絶対やらなければならないこと。東北の復興なくして日本の復興はない」と回答しました。

### 9項目を県に要望

村と村議会は8月31日、役

場で県に対する平成23年度の重点事項要望をし、榎屋伸夫村長が松岡博稜北振興局長に要望書を手渡しました。

榎屋村長は、意見交換や現地調査で要望の重要性と県の協力や支援を訴えました。要望事項は次の9項目です。

- ①東日本大震災からの水産業の復興にかかる支援
- ②太田名部漁港海岸（大沢地区）及び沢漁港海岸への海岸堤防の建設
- ③まついそ公園の早期災害復旧
- ④三陸北縦貫道路普及バイパスの早期完成
- ⑤主要地方道岩泉平井賀普及線の一部路線変更及び改良促進
- ⑥一般県道普及小屋瀬線の改良継続
- ⑦二級河川普及川・茂市川及び普及川河口の整備
- ⑧陸中海岸北山崎自然遊歩道の災害復旧等整備
- ⑨陸中海岸国立公園内普及浜園地の災害復旧等整備



現地説明の様相（太田名部）

## 初のウニ漁に活気 船の共同利用で漁する漁業者も



堀内漁港では共同で漁をする人も見られました

8月12日、今年初めてのウニ漁が口開け（解禁）され、漁業者は久々に漁に出て、巧みに竿を操り海底からウニをすくい上げていました。

津波でサツパ船をなくした漁業者が多い中、購入した中古船や津波から逃れた船を修理したもの、新艇

が間に合わない人は、2人一組で船を共同利用して漁に繰り出しました。

例年より1カ月以上遅い口開けで



かごいっぱいウニ（太田名部）

したが、午前6時半から午前9時半までの3時間で、ほとんどの漁業者が水揚げの上限30キを確保し、ホツとしていた様子でした。水揚げしたウニはそれぞれが家族などからむぎをし、漁協に引き渡しました。

今年は事前入札で1キ当たり1万1千円と例年の2倍以上の高値。太田名部の太田一智さん(49)は「修理した船でおやじと一緒に漁に行きました。今年は駄目だと思っていました。採れてよかったです」と話していました。

## ノヴィル株が1千万を寄付

水門の建設事業やサービス業などを行っている徳島県の



榎屋村長に寄付金を手渡す久岡社長（左）

ノヴィル株式会社が8月21日、村に1千万円を寄付しました。

久岡征司社長ら6人は被害現場を視察後に来庁し、「復興の財源にお役に立てください」と榎屋伸夫村長に目録を手渡ししました。榎屋村長は「全面的な復興には8年、10年かかる。今後の復興事業に活用させていただきま

## 故和村村長の顕彰碑を要望

和村幸得氏顕彰碑建立実行委員会（道下成忠代表）は第2回の実行委員会を8月24日、役場で開き、村内で募った顕彰碑の建立資金101万



要望書を手渡す道下代表（左手前）

8千円を村に寄付しました。

道下代表は、榎屋伸夫村長に「普代の防潮堤が、その目的を果たし住民を守った。今

後の津波防災のあり方について貴重な資料となると思う。和村氏の功績をたえるだけでなく将来の防災の教訓として役立ててほしい」と

話ししました。榎屋村長は「今後場所など検討し進めたい」と回答しま

## 来季のワカメ収穫何とか 気合い入れ8万個の土俵詰め



ワカメの養殖再開に向けて、共同で土俵詰めに気合いを入れる漁業者（太田名部漁港南側）

今年何とか養殖ワカメの種を付けたいと、津波で全壊となった養殖施設の復旧に向け、8月末から漁業者が一斉に土俵詰め作業をしました。

9月9日には、太田名部漁港の漁協加工場跡付近に今シーズン養殖を再開する漁業者約90人が集合。気温30℃近い中、気合いを入れ急ピッチで袋に砂利を詰める作業を進めました。

土俵は、養殖施設の重りに使われるもので、1台当たり

約1200個使用されます。1309台あった施設は津波で全壊。高齢などの理由からやむなく養殖をやめざるをえない漁業者もあり、現在は679台に留まりました。

土俵は1袋約50キ。施設の復旧には8万個作らなければならず、気の遠くなる



山積みになった養殖施設用の土俵

船も壊れ…。津波後はショックで諦めていましたが、船を修理して始めることにしました。やるしかないです」と話していました。

# 佐藤さんに法務大臣感謝状

多年にわたり人権擁護委員として国民の人権の擁護と人



感謝状を受け取る佐藤さん（左手前）

権思想の普及高揚に尽くされたとして、緑区の佐藤勲さん（75）に法務大臣から感謝状が贈られました。伝達式は7月25日、役場で行われ、盛岡地方事務局宮古支局の高橋良昌支局長が佐藤さんに感謝状を手渡しました。佐藤さんは平成14年から同23年までの9年間、同委員を務め、村民の良き相談相手として職務を全うしてきました。

# J Aがリンドウで激励

新岩手農協の坂下洋一監事と同普及支所の大平寿一、日役場を訪れ、「被災者の皆さんに元気がつくように」と同農協花卉生産部会協議会がリンドウ200本、産直ショップ花野果（久慈市）が見舞金5万円を村に贈りました。早速、リンドウ



証屋村長にリンドウを手渡す坂下監事(右)

は村漁協や商工会、医科歯科診療所などに届け、村民の皆さんに配布しました。

# 届けたい、希望の歌声 不來方高の音楽部が演奏会

音楽部の34人は、手話や小道具を使ったパフォーマンスも取り入れながら15曲あまりを熱唱。わらべうたやアニメソングをはじめ、「ありがとう」「サライ」「上を向いて歩こう」など歌詞に希望が込められた曲をメドレーで演奏。部員らが来場者の手を握って会場全体で「ふるさと」を合唱すると、来場者はこらえきれずに涙する場面もありました。



小道具を使い希望が湧く曲を歌う音楽部員

矢巾町の不來方高校音楽部（佐々木千帆部長）が8月1日、村自然休養村管理センターで復興支援コンサートを開きました。

旭日区の大上優子さん（71）は「言葉にならないぐらい、ただただ感激しました。本当に素晴らしかったです。もつとたくさんの人に聞かせてあげたかったです」と感激していました。



心に響く歌声に涙する人も…



笑顔と優しさに包まれたコンサート会場

好都市・米ミシガン州フリモントの中生から同町に贈られた支援金を活用して開催。佐々木部長は「私たちの歌声で皆さんに笑顔と元気を届けたいと一生懸命歌いました。歌の力が心がなごったと感じうれしかったです」とすがすがしい表情でした。



生徒らと手を取り合って「ふるさと」を合唱

# 熊谷實さん、感謝感激！ 北海道から免状届く

津波で流失した漁船に積んでいた太田名部の熊谷實さん（64）の船舶の免状などが北海道から届きました。



免状を手に「ありがたい」と熊谷さん

7月19日、北海道士幌町の吉田祐樹さんという方から役場に電話があり、広報係が内容を聞くと、7月18日に北海道浦幌町の海岸に家族で出掛けた際、熊谷さんの免状などが入ったコーヒーマットの空きビンを持った、とのことでした。「大切な物と思ったと同時に熊谷さんの安否が気になり電話をしました」と吉

田さん。数日後、役場に段ボールが届き広報係が熊谷さんに届けました。熊谷さんは「本当に奇跡だ。いや、すごい」と興奮。「熊谷様がご健在と聞き、まるで身内のように安堵しております。お体に気を付けて頑張ってください」と添えられた手紙に胸を熱くしていました。段ボールには士幌町名産のポテトチップスも入っており、早速吉田さんにお礼の電話をした熊谷さん。「魚が捕れら、送ってやんないば」と奇跡の出来事に感謝感激していました。

# 三鉄普代駅に来てね！

アンテナショップ 開催中  
大津波写真展



アンテナショップ  
OPEN  
8:30~16:30

ただ今、普代駅舎内で「ふだいのアンテナショップ」と「平成の大津波パネル写真展」を行っています。アンテナショップには、すき昆布や塩ワカメ類などの海産物や野菜、駄菓子など多数取りそろえています。ぜひ、お買い求めください。

写真展は、3月11日に村を襲った大津波の瞬間やその後の惨状の様子を撮影した写真約50点のほか、久慈市、野田村、洋野町、田野畑村の広報担当者などが撮影した津波の瞬間をとらえた写真も展示しています。ぜひ一度ご覧ください。



大津波写真展  
OPEN  
8:00~17:00

# 「ライオット風」が 支援コンサート出演

混声合唱団北声会（中野攻委員長）の第45回定期演奏会「東日本大震災復興支援チャリティ〜」が7月15日、盛岡市民文化ホールで行われ、同合唱団と交流を続ける野田村、普代村、田野畑村の3村合同合唱団・コーラスライオット風が招待されました。メンバー26人は「歌の絆」とプリントされたTシャツを着て5曲を披露。出演者ら皆で被災地の復興に願いを込め

# 鶴鳥七頭舞、仙台で舞う



卸町ふれあい祭りで神楽を披露しました

普代中（小橋正嗣校長、生徒81人）の神楽同好会のメンバーが7月22日、仙台

市若林区で開かれた「福幸卸町ふれあい祭り」に出演し、中野流鶴鳥七頭舞を披露しました。

華やかな衣装を身にまとった同好会の1〜3年生26人が、なぎなたや太刀などを手に約20分間躍動感たっぷりな舞い、来場者から盛んな拍手を浴びていました。終了後、同好会メンバーは特産品の販売も手伝いました。



盛岡市で開かれた復興支援チャリティーコンサート

歌声を響かせました。収益の一部2万347円は義援金として村に寄付されました。



普代駅前を出発する上組。山車は「復興祈願大漁絵巻」



復興祈願とまつりの成功を願い鏡開き

# 震災福幸祈願

「ソーレ!」下組の太鼓打ち



商店街を練り歩く下組。山車は「川中島決戦」



青年部力  
一二バル、懸賞付盆踊り大会などたくさん催しを繰り広げました。交流をしている矢中町も駆け付け、もちの提供や特産品の即売会で応援。落ち込んでばかりはいられない、まつりで景気を付けて頑張ろう!。大勢の人が震災からの福幸を祈願し普代の元気を発信しました。

「ヨオース、ヨイサー」「ヨイス、ヨイサー」。沿道に響き渡るまつりばやし。東日本大震災津波の影響で開催が心配されたふだいまつりでしたが、9月3、4の両日、普代駅前広場と村中心部を会場に行われました。下組・上組の2台の手作り山車の運行をはじめ、普代の中野流鶺鴒七頭舞の披露、商工会

# ふだいまつり



観客を魅了した普代中神楽同好会の中野流鶺鴒七頭舞



道路いっぱいに広がる下組の山車



太鼓に合わせてみんなで盆踊り



国道を練り歩くまつりの行列



かわいい稚児たちは人気者

大漁旗を広げる上組の山車



元気に「よさこいソーラン」



華やかな衣装で花を添える稚児行列



# 夏期巡回NHKラジオ体操に700人 普代の元気を全国発信!!



早朝にもかかわらず約700人がラジオ体操に集まりました(多目的グラウンド)

NHKの「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が8月12日行われ、普代の元気が全国に生放送されました。会場となった北緯40度総合運動公園多目的グラウンドには早朝にもかかわらず、村民ら約700人が詰めかける盛況でした。

本番前のリハーサルでは、体操指導の多胡肇さんの軽妙なリードで会場の雰囲気が高まりました。

その後一気に盛り上がりを見せる中、午前6時半、全国にアピールする放送の本番がスタート。参加者が一斉にピアノのリズムに乗って軽やかに体操を始めました。

堀内の宮本江利子さん(37)は「朝が早く大変でしたが徐々に体操をして気持ちよかったです」と、疲れも見せず語ってくれました。

宮本さんの次男の幸佑君(8)は「ちゃんと体操ができてよかったです。楽しかった」と話していました。

## 遊びの中で楽しく運動

### フロアリズム運動体験教室



楽しく運動する園児たち

B & G財団(梶田功会長)のフロアリズム運動体験教室が7月21日、社会体育館で開かれ、はまゆり子ども園の園児32人が運動を楽しみました。同教室は遊びを通して友達と一緒に体を動かすことが目

的。園児たちは新聞紙を手の平に置き風圧で落ちないように全力で走ったり、柔軟運動をしたり、平均台やゴムを使ったジャンプコース、跳び箱などが設置されたコースを回る運動など約1時間行いました。

大関真理子課長は、「運動は、遊びの中に運動要素を取り入れていて、関節を柔らかくするなどの効果もあります。みんながやることで周りをよく見て歩くことも覚えやすく」と幼児期の運動のポイントを話していました。



3位に入賞した森田(右)・上方ペア

### 森田・上方ペアが3位

第21回岩手県スポーツ少年団中学生ソフトテニス大会が7月30日、北上市・和賀川グリーンパークコートで行われ、普代ジュニアソフトテニスクラブ所属の森田周(普中3年)・上方将太(同)ペアが男子個人戦で3位に入賞しました。

大会は県内から72ペアが出場。同ペアは1回戦石鳥谷中を3-1、2回戦気仙リバースSTを3-1、3回戦湯本中を3-1で下し準決勝へ。準決勝では惜しくも宮古スポ少に3-1で敗れ、3位となりました。



県大会出場を決めた(左から)中村・中田ペア、松家・上方ペア、佐々木・山本ペア

### 3ペアが県大出場に

第25回久慈地方中学校ソフトテニス大会が8月21日、野田村総合運動公園で行われ、普代中ソフトテニス部の佐々木勇人・山本真広ペアが2年男子の部で5位に入賞し、県大会出場を決めました。

同女子の部では1年の松家芽・上方さくらペアが準優勝、2年の中村郁美・中田彩香ペアが5位にそれぞれ入賞し同じく県大会出場を決めました。

入賞した3ペアは、11月5、6の両日、盛岡市の市営テニスコートで行われる第17回岩手カップ中学校学年別ソフトテニス大会に出場します。

(敬称略)

## 津波で出来たコースで腕競う

### 震災にめげず普代浜でトライアル大会



津波で出来たコースで腕を競うライダー

北緯40度線上を通る県北11町村の山野をバイクで走破する第35回出光イーハトーブトライアル大会(同実行団など主催)が8月27、28日の両日行われました。八幡平市を出発点に普代村を折り返す「クラシックコース」には約1000人がエントリー。午後3時ごろから続々とライダーが普代浜に集結し、津波で出来た50m大の石が連なるコースを選手たちはバランスを取りながら巧みにハンドルを

操作していました。万澤安代表は「水門がないころからお世話になっていた。景色が変わっても皆さんがいつもどおり迎えてくれたことがうれしい」と大会の開催を喜んでいました。

宿泊先のくろさき荘駐車場では、同実行団から普代村、野田村、岩泉町、田野畑村の4町村に選手団が募った義援金80万円が贈られ、万澤代表から証屋伸夫村長に目録が手渡されました。義援金は同様に3市町村にも贈呈



証屋村長に義援金を手渡す万澤代表

されました。証屋村長は「皆さんから勇気をいただきました。心に残る農山漁村をつくりますので来年も復興の様子を見に来ていただきたいです」とお礼しました。

### 57回村長旗野球大会

## 白井チームが優勝旗奪還



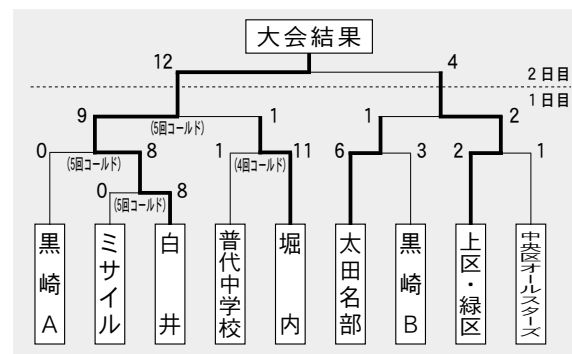
圧倒的な強さで優勝を飾った白井チーム

お盆恒例の村長旗争奪地区対抗野球大会が8月14、15の両日、北緯40度運動公園野球

場と普代中校庭の2会場で行われ、白井チームが圧倒的な強さで優勝旗を奪還し12年ぶりの優勝を飾りました。

今年は9チームが出場。選手宣誓で黒崎Aチームの森子椋太選手が「今年も盆野球ができることに、生かされていることに感謝し全力でプレイします」と宣誓。それぞれのグラウンドで熱戦が展開されました。

優勝した白井チームは1回戦、2回戦、準決勝と全てコールド勝ち。15日の決勝では上区・緑区チームを投打で圧倒し12-4で下しました。



白井チームの須田光男監督(45)は「久々の優勝。若い選手が頑張る打線も好調。地域の人も応援に来てくれて励みになりました」と感謝していました。

### お誕生おめでとう(2人)

赤坂 風留(修一・直子) 白井 金子 愛結(昭人・麻美) 黒崎

### ご結婚おめでとう(0組)

### お悔やみ申し上げます(9人)

長根 シワ 堀内机 91歳  
 野崎 光子 太田名部 85歳  
 合砂 繁雄 中央区 82歳  
 大場 力 旭日区 77歳  
 太田 アキ 太田名部 90歳  
 小丹 澄子 堀内 85歳  
 深渡 テイ 上区 86歳  
 森子 トミ 黒崎 92歳  
 深渡 與助 堀内 88歳

## 交通安全対策情報

- 村内の交通事故《8月》  
 人身事故 1件(3件)  
 物損事故 2件(19件)  
 ※()内は1月からの累計  
 飲酒運転検挙者 0人(1人)  
 ※()内は8月からの累計
  - 救急車の出動回数《8月》15回
  - 飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
- | 検挙日   | 年代  | 性別 |
|-------|-----|----|
| 7月21日 | 50代 | 男性 |
- 県内37市町村中ワースト順位…9位(7月31日現在)  
 県内の検挙者数《7月》39人

## 人口と世帯

8月末現在  
 前月比 前年比  
 人口 3,020人 (-14) (-80)  
 (男) 1,480人 (-4) (-34)  
 (女) 1,540人 (-10) (-46)  
 世帯 1,116戸 (+3) (-6)

ご存じですか?

### お気軽に 行政相談を!!

10月17日から23日までの1週間、「行政相談週間」が行われます。行政相談は、国や独立行政法人などの仕事をはじめ、県や市町村が国から委託、補助を受けている仕事について、皆さんが日ごろ感じている不満や要望を聞き、改善を図ることを目的としています。

行政相談週間に合わせて、行政相談員の佐藤勲さん(緑区・電話090-7336-2542)が次の通り皆さんの相談に応じます。相談は無料で秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

▶相談日時…①10月22日(土)、23日(日) 両日とも10:00~15:00  
 ※上記の日以外でも相談は受け付けています。  
 ▶場所…自然休養村管理センター  
 ▶問い合わせ先…役場総務課(☎35-2111、内線114)

道路が崩れて狭くなったり、普代浜トンネルなどトンネル内が暗くなっています。歩行や車を運転する際は十分に気を付けてください。

#### おわびと訂正

先月号6ページの義援金などの紹介で「てぼかい合唱団」は「混声合唱団北声会」の誤りでした。おわびして訂正します。

### 検察審査会からのお知らせ

検察審査会制度は、検察官が事件を裁判にかけなかったこと(不起訴処分)のよしあしを、選挙権を有する国民の中から「くじ」で選ばれた11人の検察審査員が審査する制度です。

検察審査員は、一般の有権者の中から、まず審査員候補者がくじで選ばれ、次にその候補者の中からくじで選ばれます。検察審査員候補者として通知を受け取った人は、同封している質問票回答書を「盛岡検察審査会」に送ってください。

皆さんが検察審査員に選ばれたときには、ご協力ください。  
 ▶問い合わせ先…二戸検察審査会事務局(盛岡地方裁判所二戸支部内☎0195-23-2591)

### 労働保険料は9/30が期限

東日本大震災への対策として、平成23年7月11日(月)までの期限を延長していましたが、今年の労働保険料・一般拠出金の申告・納付期限が9月30日(金)とされました。

事業主の皆さんは、この期限までに年度更新の手続きを行ってください。詳しくは岩手労働局(☎019-604-3003)または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

### 第23回ふるさと普代会の集い

23回目を迎える「ふるさと普代会」の総会と集いが下記の日時に行われます。お問い合わせ、ご参加ください。  
 ◆とき：10月30日(日)午前11時30分~  
 ◆ところ：東京ガーデンパレス(東京都文京区)

### 司法書士会で「法律相談」

岩手県司法書士会では、10月1日の「法の日」を記念して、無料の法律相談所を次の通り開きます。

▶日時…10月1日(土) 9:00~12:00  
 ▶場所…岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部会員の各事務所  
 ▶相談内容…土地の分筆・合筆・地目変更・地積更正登記、建物の新築・増築・滅失登記、土地・建物の調査測量、境界問題など  
 ▶問い合わせ先…岩手司法書士会久慈地区事務局(☎0194-59-3400)

### 「自賠責保険」絶対掛けて

平成22年の事故発生件数は約72万件、死傷者数は89万人と、誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る深刻な状況です。

自賠責保険・共済は、原付バイクから全ての自動車の1台ごとに加入が義務づけられています。未加入の場合は法令違反になります。有効期限切れ、かけ忘れにもご注意ください。

うっかりでは  
 すまされません  
 自賠責!!

▶問い合わせ先…東北運輸局岩手運輸支局(☎019-638-2155)



昨年の模様

募集しています!

### 教員を目指す学生に奨学金

九戸地方育英会では、岩手県の教員を目指す学生に奨学金を貸与する奨学生の予約採用者を募集します。

▶応募資格…①岩手県の教員を志望している学生②学業成績に優れ、品行方正の人③心身ともに健康な人④久慈地区(久慈市、普代村、洋野町、野田村)に本籍を有する人  
 ▶予約採用者数…最大5人(選考の上、11月に仮決定し、合格が確定後、最終決定)  
 ▶貸費額…月額3万円。卒業後に貸費した月額の2分の1以上を毎月または年賦などの方法で8年以内に全額償還するもの。  
 ▶申込書提出期限…10月28日(金)  
 ※申込書、戸籍謄本など提出書類の詳細については、村教育委員会事務局(☎35-2711)、または九戸地方育英会事務局(久慈市教育委員会総務学事課内☎0194-52-2154)にお問い合わせください。

クマ用電気柵を貸します!  
 農林商工課(☎53-2115)

### 困っていたら相談を!

#### 久慈地区法律相談

▶期日…10月12日(水)、21日(金)▶時間…10:30~15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-52-8003)

#### 多重債務者相談

▶期日…10月27日(木)▶時間…9:00~16:00▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-54-8003)

#### エイズ・肝炎ウイルス・性器

クラミジア検査、骨髄バンク登録  
 ▶日時…10月11日(火)①エイズ・肝炎・性器検査：14:00~16:00、17:00~19:00②骨髄バンク登録(要予約)：14:00~16:00▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

#### 精神保健福祉相談

▶日時…10月21日(金)13:30~▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987、要予約)

#### ひきこもりの若者の 小さな集まり・家族会

▶日時…10月20日(木)14:00~16:00▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

## 愛車の車検

お気軽にご相談ください。

民間車検だからできる **格安料金、日帰り車検!**  
**新車登録後5年または走行5万\*未満のお車に限り!**

#### ●車検料例【諸掛かり込み】

軽乗用車 **55,000円**~ 軽トラック **54,000円**~

※その他の車種については、ご相談ください。お車の状態によりご相談させていただく場合があります。

東北運輸局長指定民間指定工場

## 俺ガサク自動車整備工場

電話 **0194-35-2216**  
 FAX **0194-35-2158**

## 普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」8月当選者は以下の方々です。

太田澄子様(太田名部) 太田美知様(堀内) 北野又シゲ様(田野畑村) 熊谷美喜子様(旭日区) 高屋敷明子様(上区) 中村ナツ様(田野畑村) 深渡桂様(上区) 榎谷由香様(茂市) ルナ美容室(旭日区) ほか1名様

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加盟店のご利用をお願いいたします。





# 声・お便り & 応援メッセージ



メールやお便りなど皆さまから寄せられた村への温かいメッセージを紹介します。

**皆** さんこんにちは。今回の東日本大震災には心からお見舞い申し上げます。私のできることは小物を作ることです。私が考えて作った小銭入れ、3カ月間一生懸命作りました。小学生の皆さんにぜひ、使ってみてください。それでは、一日一日を大切に、元気で大きくなってください。

藤島 操さん（静岡県熱海市・85歳）  
今度はコマなどのおもちゃ、中国雑技団のビデオ、カード入れをいただきました。ありがとうございます。



藤島さんから贈られたおもちゃなど  
波から半年がたち、少しずつですが漁港も復旧し、漁船が

**暑** 中御見舞い申し上げます。1年で最も暑い時期を迎えます。（7月末に届いたおはがきです）今年も暑かったようで、今は少ししのぎやすく少し楽です。

7月27日河北新報掲載、普代村普代中神楽同好会の演舞報道記事を同封します。広報担当のご参考にしてください。ありがとうございました。

私たち星家5人家族は、3月11日の地震で自宅半壊、居住不能となり隣りに間借り生活をしています。いずれ自宅再建して多賀城市に戻る予定です。どうぞよろしくお願いたします。

星 信義さん（宮城県塩釜市）  
そうでしたか、以前広報を送っていた住所が多賀城市だったので、ご無事か気になっていました。大変な状況の中、記事の切り抜きを送っていただき、ありがとうございます。今回、「家」は安心に眠

れてこそ、家だと感じました。自宅が完成しましたら、またお便りください。

**夏** 休みに駅に行ってきた。津波の写真を見てこんな流れに流されてしまった。津波の恐ろしさが身にしました。また漁業をはじめ人も自ら頑張ろうね。

最近クマの出没で散歩ができません。B&Gでエアロビクス教室やフラダンス教室に参加するのが精いっぱいです。  
佐々木裕子さん（堀内）

写真展（9月に掲載）に行ってくださいね。ありがとうございます。津波は本当に恐ろしいです。外国では「キラウエーブ」（殺人波）とも言うそうです。津波との共生は、海から恩恵を受けて生きていく私たち人間の宿命なのではないでしょうか。

元絵

間違い探し用

あ	い	う
え	お	か
き	く	け

※注 色の濃さ、文字（あ～け）の下に隠れている部分は間違いに含みません

## 広報クイズ

いつも「みんなのイラスト展」に元気な絵を描いてくれているみんな、ありがとう！みんなのイラストで「広報ふだい」を明るくするようお願いいたします。「がんばれ！ふだい」

# みんなのイラスト展



中田悠真くん（力持・2歳）



仲村妃礼さん（京都府京都市・13歳）



仲村妃織さん（京都府京都市・11歳）



谷地真鈴さん（力持・10歳）



仲村威慧くん（京都府京都市・10歳）



谷地一星くん（力持・6歳）



佐藤理子さん（上区・8歳）

## 応募の方法

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

- ◎ 応募総数... 8通で8人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。
- ◎ 当選者... ①仲村威慧くん（京都府京都市・10歳） ②仲村妃礼さん（京都府京都市・13歳） ③谷地真鈴さん（力持・10歳） ④佐藤理子さん（上区・8歳） ⑤佐々木裕子さん（堀内）

- ◎ あて先... 〒028-8399 普代村役場広報クイズ係
- ◎ 締め切り... 10月10日（月）当日消印有効
- ◎ 6月号の答え... ①-A ②-B

おとうさん おかあさん あのね... 292



いよなちゃん（はまゆり子ども園さくら組）

おおかみいよなちゃん（大上惟代奈・5歳）から父・孝三さん、母・有子さんへ

パパはいつもわらってるんだよ。パパから、たかいたかいしてもらうのが、いちばんすき。だってそらをとんでるみたいだもん。パパのくつがちいさくなったら、くろくてすてきなくつをかってあげたいな。あさかなをとるおしごとがんばってくれて、いつもありがとう！

めがキラキラしてかわいいおかあさん。いよなは、おかえりだっこをもらうのが、まいにちたのしみなんだよ。よるおそくまでパソコンのおしごとをやって、たいへんそうだね。がんばってね！

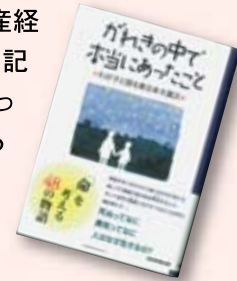
# その日にあったこと



イラスト・田山裕之さん（広報にのへ担当）

もしも普代にも30m級の津波が来ていたとしたら…

このコーナーでは東日本大震災以来、産経新聞の記者たちが、被災地で取材した記事をまとめた「がれきの中で本当にあったこと」という本から、被災地で生きる人々を抜粋して紹介します。私たちの運命が変わった3月11日。その日に何が起こっていたのでしょうか…。



## 避難3原則守った「釜石の奇跡」

背後を気にしながら高台を目指す子供たち。小学生は、中学生に手を引かれている。これは東日本大震災の大津波から避難する若手県釜石市の鶴住居小学校（361人）、釜石中学校（222人）の避難の様子を、住民が撮影した貴重な写真だ（省略）。

釜石市内の児童・生徒はほぼ全員が無事逃げ延びた。「釜石の奇跡」といわれる避難はどのように行われたのか。

①想定にとらわれない  
海岸からわずか1キロの鶴住居小では地震直後、校舎3階に児童が集まった。地震では建物自体は被害がなかったことや浸水想定区域外だったのが理由だった。海岸から近いにもかかわらず浸水想定区域外だったのは、明治、昭和の津波で被害がなかったからだ。

しかし、児童が3階に集まり始めたころ、隣接する釜石東中では生徒は校庭に駆けだしていた。校内放送は停電のため使えなかったが、これを見た児童たちは日頃の同中の合同訓練を思い出して自らの判断で校庭に駆け出した。児童・生徒ら約600人は、約500メートル後方にある高台のグループホームまで避難。これも指定避難所だったが一息つく間もなく、裏側の崖が崩れるのを目撃する。危険を感じて児童・生徒はさらに約500メートル先の高台にある介護福祉施設を目指した。その約30秒後、グループホームは津波にのまれた。

②最善を尽くす  
背後から聞こえる轟音と防潮堤にぶつかると白い波しぶきを見た児童・生徒はたどり着いた介護福祉施設からさらに高台へ駆けつけた。津波は介護福祉施設の約100メートル手前で止まった。

「危うく小学生全員が津波に巻き込まれるところだった」と釜石市の小中学生の避難行動を調査した群馬大学大学院災害社会工学研究室の片田敏孝教授と金井昌信助教は口々に話す。もちろん津波は小中学校の校舎をのみ込み、鶴住居小では3階まで流されてきた自動車が突き刺さっていた。

③率先避難者になる  
釜石市教委は平成17年から片田教授らとともに防災教育に取り組んでいたが、翌年の千島列島沖地震の際には避難率10%未満だった。このため、片田教授は子供たちにも登下校時の避難計画を立てさせた。津波の驚異を学ぶための授業も増やし、年間5〜10分時間をあてた。そして、「避難3原則」を徹底してたたき込んだ。①想定にとらわれない②状況下において最善を尽くす③率先避難者になる。今回の大津波で児童が校舎3階から校庭に駆け出して高台に向かったこと、中学生が率先避難者となって小学生を導いたことなどすべてが「避難3原則」にあてはまる。

市内では、すでに7割の児童が下校していた釜石小学校（児童184人）もあったが、全員が無事だった。祖母と自宅にいた児童は、祖母を介助しながら避難し、指定避難所の公園にいた児童は津波の勢いの強さをみてさらに高台に避難するなど、ここでも「避難3原則」が生かされていた。

ただ、子供たちの命は守られたが片田教授は決して満足していない。防災教育は子供を通じて、家族にも伝わるはずだったが、釜石市内では約1300人の死者・行方不明者がいるからだ。

「津波がきたら、家族バラバラでもとにかく逃げろ」過去、何度も津波に襲われた三陸地方には「津波でんでんこ」という言い伝えがある。片田教授は「人間の想定は役に立たない。津波を自然の驚異として意識しなければいけない。住民一人一人が津波の怖さを意識し、避難できる能力を備えること。それが『津波でんでんこ』を可能にする。家族みんな、地域みんなが助かることが大切」と話している。

4月13日付け産経新聞

**普代中体育祭の写真販売中!!**  
Lサイズ 特価 ¥30  
「ネットプリント」始めました。  
インターネットからいつでも注文できます。  
肖像写真 技術士 **カトウ写真館** TEL (35) 2594 FAX (35) 2594

**DVDダビング**  
大切な思い出をDVDに永久保存!  
ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!  
二人なかよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負...  
いっしょけんめいがんばった運動会 思い出の旅行...  
当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)  
8ミリフィルムもダビングOKです!!  
価格応談  
**(有)坂下電化センター** TEL 35-2138

**塗装**  
茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

名前のゴム印・のし袋用 ¥1,680-  
実印か 銀行印 どちらか 黒水牛 2本セット ¥9,800-  
めがねセット ¥15,750-  
使いつて コンタクトレンズ販売  
普代村 中央区 **まっば時計店** ☎35-2276

10/8(土) やませ縁市  
野田駅前で開催!  
おやき・ドーナツなど販売します!!  
中央区 **三船製菓** ☎35-2020

オフィス用品を 明日くる アスクル  
翌日お届け!  
オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで  
最経北行伝説の地 鶴島神社前 **のだ事務機**  
☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016  
岩手日報普代販売センター 金子新聞店

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替  
**沢口畳店**  
普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

毎月2日、12日、22日  
**ポイント2倍デー**  
(有)まるに ☎35-2201

オートムジャンボ2.5億円  
9月26日(月)~10月14日(金)まで

冷たい物運びあそび! 夏バテは秋風とともにやってくる  
夏バテは秋風とともにやってくる  
夏バテは秋風とともにやってくる  
夏バテは秋風とともにやってくる  
**高橋薬局** 中央区 電話 35-2045

◎朝ごはんはココロにも効く

# 10月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
<b>9/25</b> (大安) ・普代村総合防災訓練 (7:45～、村内)	<b>26</b> (赤口) ・健康相談 (黒崎・太田名部)	<b>27</b> (先負) 合同敬老会 (10:00～、㊸)	<b>28</b> (仏滅) ・2歳6カ月児歯科教室 (受け付け12:00～12:15、㊸) ・子ども神楽教室 (18:00～19:00、㊸)	<b>29</b> (大安) ・BCG接種 (受け付け13:30～13:45、㊸) ・パソコン教室 (中級、13:00～15:00、㊸) ・エアロピクス教室 (18:30～19:30、㊸)	<b>30</b> (赤口) ・太極拳教室 (18:30～19:30、㊸) 国民健康保険税第2期納期限 自動車税納期限	<b>10/1</b> (先勝) ・サタデースクール⑨ (9:30～11:30、㊸) ・学習塾 (13:30～16:30、㊸)
	<b>3</b> (先負) ・健康相談 (萩牛・落合)		<b>6</b> (赤口) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風予防接種 (受け付け13:30～13:45、㊸)	<b>7</b> (先勝) ・健康相談 (旭日区・中央区)	<b>8</b> (友引) ・学習塾 (13:30～16:30、㊸) はまゆり子ども園運動会 (9:00～12:00、㊸)	
<b>9</b> (先負) ・2011スポレク健康祭、㊸、㊹	<b>10</b> (仏滅) 体育の日		<b>12</b> (赤口) ・お誕生教室 (受け付け12:00～12:15、㊸)	<b>13</b> (先勝) ・ポリオ予防接種 (受け付け13:30～13:45、㊸)		<b>15</b> (先負) ・サタデースクール⑩ (9:30～11:30、㊸) ・学習塾 (13:30～16:30、㊸)
	<b>18</b> (赤口)	<b>19</b> (先勝) ・離乳食教室 (受け付け12:00～12:15、㊸)		<b>21</b> (先負) ・健康相談 (上区・緑区)	<b>22</b> (仏滅) ・学習塾 (13:30～16:30、㊸) 普代小学習発表会 (8:45～12:15、同校)	
<b>23</b> (大安) 普代中文化祭 (9:00～15:20、同校)	<b>24</b> (赤口) ・健診結果説明会 (~27日)、㊸	<b>25</b> (先勝) ・歯科検診		<b>28</b> (大安)	㊸は保健センター ㊹は北緯40度野球場 ㊺は社会体育館 ㊻は管理センター ㊼はふれあい交流センター ㊽は医科診療所 ㊾は子育て支援室 ㊿は海洋センター	

## 広報ふだい 9月号 No.592

発行日 平成23年9月22日  
 編集 普代村役場 総務課  
 〒028-8392  
 岩手県下閉伊郡普代村  
 第9地割字銅屋13番地2  
 TEL0194㉔2111 FAX0194㉔3017  
 ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>  
 電子メール [fudai@vill.fudai.iwate.jp](mailto:fudai@vill.fudai.iwate.jp)  
 印刷 有限会社 九戸印刷



何とか撮れた1枚です

▼今月号は話題が盛りだくさん。初のウニ漁や8万個の土俵詰め、ふだいたくさんの善意など、うだいたくさんの善行計画の素案も出され、着実に秋へ進んでいきます。▼広報の研修で秋田県大仙市に行ってきました。花火撮影もあり、研修では夜空を彩る6千発(約2時間)の大輪の花、そして光と音の競演に圧巻。カメラの撮影練習もしなければならぬ、デジタルで動画も撮りたい、ちゃんと肉眼でも見たい。最後の花火では「ブォーッ!」と辺り構わず奇声を発してしまいました。▼平和の意味が込められているという花火。皆さんの気持ちが一段落したとき、普代の夜空にも大輪の花を咲かせてみたい。そんな願いを抱かきました。(森田 ㊸)

**ホッと一息**  
